

「松山の授業モデル」とICT活用（社会科）

学習場面 (松山の授業モデル)	ICT活用例
<p>■ 学習課題の設定</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #800000; color: white;">習得・活用・探究</p>	<p>問題意識をもち、問題解決の見通しを立てる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年「身近な地域や市の様子」の学習を始めるに当たって、身近にあるがあまり知らないであろう建物などの写真を提示して、知っていることを紹介し合ったり、調べたいことを出し合ったりすることで、課題意識や意欲を高めることが考えられる（A1）。
<p>■ 交流し考える学習</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; background-color: #4CAF50; color: white;">交流・表現・体験</p>	<p>情報を収集する場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3学年「身近な地域や市の様子」の学習における市内見学において、これまでは、ノートに記録する、写真を撮るなどが多かった活動に、ICTの活用により広がりをもたせることができる。グループごとにタブレット型の学習者用コンピュータを持参し、それぞれの問いに合わせて見学を進めると、写真機能を使って、記録していく（B2）、録画機能を使って、映像を記録していく（B2）、映像の中に自分たちの解説を入れる（B4）、レポーターをつけてレポート形式の動画を撮る（B4）など様々な活用が出てくる。 <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">  </div> <p>収集した情報を基に話し合う場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査後、撮影してきた映像をグループごとに見ながら、問いに対する答えや新たな発見をまとめていく（C2）。教室でグループごとに集めた画像や映像などを基に話し合いを行う（C2）、画像や映像を基に、自分たちが調べて分かったことを分かりやすく伝える方法を話し合う、画像や映像を基にお互いに発表をする（C1）こともできる。 ・メモに追われず聞き取り調査を行えること、そして、聞き取った情報を繰り返し映像で再生し確認できることはICTのよさであるといえる。また、収集した情報を何度も再生して吟味できるので調べたことを基に深く考えることができる。 <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">  </div> <p>情報をまとめる場面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査や聞き取りの結果などを正確に記録にまとめたり、収集した統計を汎用性のある表に加工してまとめたりすること（B4）、データをその性格によって分類してまとめたり、データをその利用の可否によって取捨選択してまとめたりすること（B4）、文書などの情報を地図化、グラフ化して概観できるようまとめたり、地図やグラフなどの情報を文章にして解釈、説明してまとめたりすること（B4）などが考えられる。

■ 学習の振り返り

内容×方法

問題解決の過程を振り返る場面

- ・自分たちの考えに対する評価を知り、考えを一層深めるために、他の友人や保護者、教師等にクラウドサービスを活用したアンケートを実施し、自分たちの考えに対する賛意を得ることで、自分たちが暮らす市や国の将来について考えることに自信が深まり、社会参画へとつなげていくことが考えられる。

